

# 四賀地区 図書だより

美しく生きる。



健康寿命延伸都市・松本

令和2年12月1日号 発行 四賀公民館図書視聴覚委員会

## 絵本の魅力を感じてみませんか？

コロナ禍の中、家にいる時間が多くなりましたね。人によって気分転換の仕方はさまざまですが、この機会に絵本で楽しい時間を過ごしませんか？

絵本は子ども向けのものというイメージがありますが、大人にとっても魅力的なものだって知っていますか？ 大人も魅了する絵本の魅力とは・・・？ あなたが最後に絵本を読んだのはいつですか？ 自分の子ども時代に読んだ時でしょうか。それとも大人になってから誰かに読み聞かせた時でしょうか。「大人になった自分」として絵本と向き合ってみると、幼い頃には気づかなかった物語からのメッセージに気づくはず。あたたかい気持ちや、日常で忘れがちな「本当に大事なこと」に気づかせてくれる、それが絵本なのかもしれません。

お子さんやお孫さんとのコミュニケーションのツールとしての絵本、読み手と聞き手がとけ合っていく体験……。絵本は読み聞かせから始まる子ども達の豊かな育ちに繋がることでしょう！

そこで、皆さんにこんな絵本はいかがでしょう？

これからの季節にあわせて「クリスマス」と「お正月」の本を選んでみました。

**クリスマスには・・・**

「賢者のおくりもの」オー・ヘンリー 文

「サンタクロースはおばあさん」佐野洋子 作

「サンタさんへ12のプレゼント」マウリ・クンナス 作

「あけましておめでとう」中川ひろたか 作

「チュンチエ 中国のおしょうがつ」ユイリーチョン 文（中国）

「ソルビム お正月の晴れ着」ペ・ヒョンジュ 絵・文（韓国）

「おせちのおしょうがつ」ねぎしれいこ 作

「かさこじぞう」（日本の民話）

「としがみさまとおしょうがつ」やすいすえこ 作（紙芝居）



**お正月には・・・**

絵本は、小さな美術館ともいわれています。すてきな絵本を見ながら読み聞かせをしてもらう子どもたちは、幸福いっぱいです！！



今年も大盛況、  
無料配布本！

文化祭に合わせ、図書室前のカウンターに並べられたたくさんのお本。子どもから大人まで、熱心に好みの本を選んでいました。



# 新刊・おすすめ図書のご案内

『一人称単数』 村上春樹 著  
『半沢直樹 アルルカンと道化師』 池井戸潤 著  
『美女ステイホーム』 林真理子 著  
『きたきた捕物帖』 宮部みゆき 著  
『未来の自分に出会える古書店』 齋藤孝 著  
『文字の読めないパイロット』 高梨智樹 著  
『ボクはやっと認知症のことがわかった』 長谷川和夫 著

## 新しく購入した本

一般書

児童書

『あるひあるとき』 あまんきみこ 文  
『おむすびころりんはっけよい!』 森くま堂 作  
『ママはかいぞく』 カリーヌ・シュリュグ 文  
『名探偵ポアロ ABC殺人事件』 アガサ・クリスティー 著  
『知れば知るほど お相撲ことば』 「おすもうさん」編集部 編  
『なぜ僕らは働くのか』 池上彰 監修

## おすすめ本

『流人道中記 上・下』 浅田次郎 著

姦通罪で切腹を言い渡されたが、それを拒んで蝦夷へ流罪となった旗本・青山玄蕃と押送人の若い見習い吾力の石川乙二郎（僕）が奥州街道の旅に出る。石川は、道中、盗賊や女郎、仇討ちなどと出会い成長していく。そして共に歩く程に青山玄蕃の人となりにひかれていく。終盤では、玄蕃が罪に問われた真実が明らかになっていく。



『法廷遊戯』 五十嵐律人 著

物語は2部構成。前半は模擬法廷「無辜ゲーム」が行われるロースクールを舞台に法曹の道を目指す児童養護施設出身の清義と美鈴、異端の天才警の3人が、不可解な事件の謎を追う。時が流れた後半では、弁護士になった清義が、警を殺害したとして殺人罪に問われた美鈴を守るために、事件の真相に迫る。ドラマチックな迫真の裁判劇を描いている。



『数字でわかる!ぎょうてんな 日本の歴史』 本郷和人 監修

教科書に出てくるような事件や人物たちが、数字をキーワードに紹介されている。ひとつの事が違った面からも解説されており、歴史が面白くリアルに感じられる。



## 年末年始休館日のお知らせ

12/28(月)~1/4(月)

上記期間は休館日となりますのでよろしくお願いいたします。

## 編集後記

2020年、生活を見直す一年となりました。  
SDGs 持続可能な開発目標・・・来年は、世界に目を向けて暮らしを考えてみませんか？

## 図書視聴覚委員

児玉りえ、山田光子、中澤恵利子  
草田美子、降旗匡子、本木智恵子



